

高島平が抱える課題

課題：

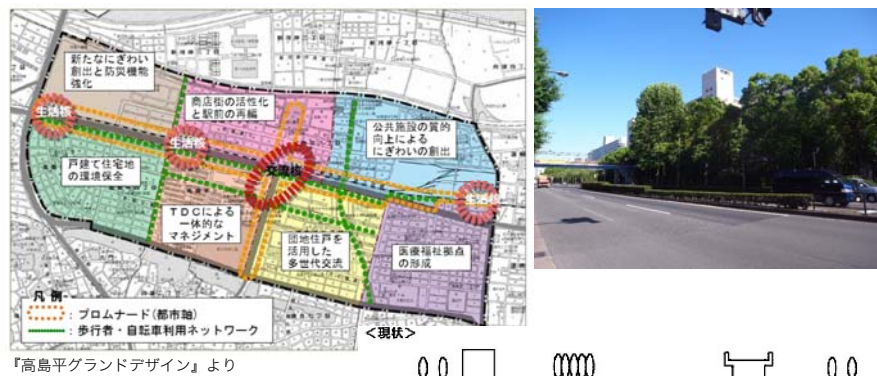
- 高島平団地を始めとする多くの都市基盤施設が開設して40年以上が経過し、建築物や設備の老朽化が進行
- 区の平均を上回るスピードで少子高齢化が進行、団地を中心に人口減少も進み、新たな課題への対応や持続的発展が可能な都市への転換が必要
- 『魅力創造発信都市』と『安心安全環境都市』の実現する「都市再生の方向性」
- 誰もが訪れてみたい、住みたい、暮らし続けたいと共感できる「都市再生モデル」を提示する。



板橋区提供資料より抜粋

2015年10月
『高島平グランドデザイン』策定

高島平プロムナードの現状と課題



「高島平グランドデザイン」より

せっかくの中心軸なのに、魅力あるパブリックスペースになっていない

- ※緩衝緑地からの脱皮（生い茂った樹木（暗い、入りづらい）の改善）
- ※さまざまな使い方を許容できる空間、広場化
- ※周囲のまちとの関係構築
- ※公有地の活用によるまちの運営、マネジメントモデル

2015年度の取り組み

パブリックスペースとしての「プロムナード」のあり方に対する自主的提案

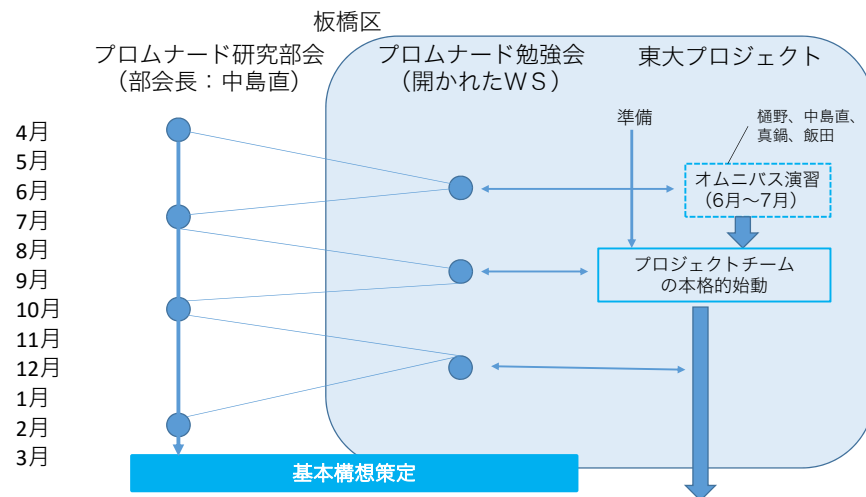
① A P S (Action for Public Spaces) 推進会議・高島平部会による提言・意見交換（部会長：中島直）
2015年6月～10月

② 東大・高麗大（韓国）の大学院生による国際ワークショップ（担当：樋野、中島直、中島伸、飯田）
2016年1月



2016年度の取り組み

「プロムナード基本構想」策定を軸とした調査、提案、アクション



2016年度の取り組み

高島平アーバンデザインセンターの設立

